令 和 ４ 年 １２ 月 ２ 日

地域密着型サービス

令和４年度　第４回運営推進会議議事録

運営推進会議の開催状況について

法人名・事業所名	社会福祉法人幸清会　地域密着型特別養護老人ホーム財田の杜		
所在地	虻田郡洞爺湖町川東８０―１６		
担当者名・連絡先	施設長　吉田　恵	TEL ０１４２-８２-４７１０	
従業者	従業者総数 20 人（内訳：常勤１５人　非常勤５人）（令和　４年　11 月 23 日現在）		
うち夜勤の従業者	１日当たり事業所全体の勤務従業者数　　２人		
運営推進会議の開催日	2022 年　11 月　30 日　　（令和４年度　第４回　）		
	※基本的な感染予防策を徹底した中、集合形式で開催。		

運営推進会議の構成員	所 属（団体等）名	職　　名	出欠
入居者			
入居者			
入居者の家族			×
地域住民の代表者	川東地区自治会	自治会長	×
地域民生委員	民生委員	洞爺湖町民生・児童委員 洞爺湖町福祉調査員	○
地域協力者	洞爺総合支所	庶務課　主査	○
地域包括	地域包括センター	センター長	×
市町村職員	洞爺湖町役場	介護保険グループ主幹	×
地域社協	北海道社会福祉協議会	北海道地域福祉 生活支援センター委員	○
地域消防	西胆振行政事務組合消防本部 洞爺出張所	所長	○
地域駐在所	伊達警察署 洞爺駐在所	所長	×
施設職員	財田の杜	施設長	×
施設職員	財田の杜	ケアマネジャー	○
施設職員	財田の杜	生活相談員	○

議題	◯活動状況の報告・その他報告事項 ◯会議の出席者からの事業所の活動状況の評価 ◯事業所への要望、助言等の意見聴取			
利用状況	利用者総数　２６人　（令和 ４年　11 月 23 日現在）平均介護度 2.71　稼働率 91.43%			
	要支援１：　０人	要支援２：０人	要介護１：４人	要介護２：６人
	要介護３：　９人	要介護４：７人	要介護５：０人	―

交流・行事等の実施状況 ・利用者の家族との交流内容 ・地域との交流内容 ・その他の事業　など	（直近約２か月又は前回報告以降） 〇利用者の家族との交流内容 ※10 月、11 月はありません。 〇地域との交流内容 ※10 月、11 月はありません。 〇その他の事業 10 月 ３ 日　主任会議、プライバシー保護に関する研修 ７日　外部研修「カスタマーハラスメント対策」　１名参加 17 日　給食・職員・防災会議（書面開催） 11 月 ７ 日　主任会議、身体拘束適正化委員会、虐待防止検討委員会 クラスター発生後振り返り ９日　法人内研修「身体拘束・虐待防止」 21 日　ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ予防接種、給食・職員・防災会議 リスク管理委員会、クラスター発生後振り返り 22 日　法人内研修「感染症対策研修②」２名参加 24 日　入居判定委員会　対象者２名 25 日　土砂災害想定　自主避難訓練 29 日　施設長会議・行動規範委員会
事故の状況	２件 経緯 令和４年Ｘ月Ｙ日　誤食事故 転倒後の状態を確認するため、報告を受け駆けつけた職員が痛みのある右大腿部から腰部を触診している際、嘔気がありすぐにバケツを用意し多量の嘔吐が確認される。嘔吐物の中から義歯洗浄剤の空袋が発見され誤食したことを認知する。 原因 １）・施設内でコロナウイルス感染症が発生してから感染拡大防止をはかるため、居室対応としていた。それが理解できず、居室から出てきた際に居室へ戻ることやマスク着用の声かけなどが、ストレスとなり食べたい気持ちが増したのではないか。 ・認知機能低下による記憶障害から「食事をしたこと」を忘れ空腹感があり、たまたま普段から使用するシルバーカーの中に義歯洗浄剤を発見し、食べ物ではないことを認識できず、口に入れ飲み込んでしまったと推測される。 再発防止策 １）居室内を再度確認し、誤食をした際に身体に影響がありそうなものは全て回収し職員が管理をさせていただく。 令和４年Ｙ月Ｚ日　転倒骨折事故 居室より「痛い！痛いよー！」と叫ぶ声が聞こえる。居室の扉が開いており本人が右半身を下にして床に倒れている。右腰部から大腿部の痛みが強く動作も困難な状況。救急車を要請し、市立室蘭総合病院に搬送される。検査の結果、右大腿骨転子部骨折、手術の必要があると診断を受け入院となる。 原因 １）誤食した義歯洗浄剤の影響で、気分が悪くなりトイレに行こうとした。普段から多少ふらつきがある歩行状態がさらに不安定となり、気分の悪さから焦りもあったため、居室の扉を開けて出ようとした際にバランスを崩してしまい右後方に転倒したと推測される。 ▼再発防止策 １）右大腿骨転子部骨折の手術後、リハビリを受け退院した際に再度ADLを評価し転倒防止策を検討することとした。

ヒヤリハット報告	（10／1　～　11／23）　全 14 件 ヒヤリハットⅠ　　４件 （内訳　転倒の危険３件、誤食危険１件） ヒヤリハットⅡ　　10 件 （内訳　転倒５件、変色３件、椅子からずり落ち２件） 苦情ヒヤリハット　　０件 （内訳：　　）
相談・苦情の状況	（直近約２か月又は前回報告以降） 苦情　無 相談　21 件 （内訳: 入退居５件、受診３件、窓越し面会４件、手続き１件、他８件）
身体拘束の状況	有：無 身体拘束等適正化委員会（直近の開催日　令和４年 11 月７日）
感染症等の発生状況	有：無 ※当施設は令和４年 10 月６日昼過ぎに入居者様１名の陽性を確認。 その後感染拡大しクラスター発生となる。以下のように報告をする。 添付資料あり。 　10 月６日昼過ぎ、X 病院 Y 病棟において職員１名がコロナに感染したとの情報を本体施設の大原の杜より受けました。2 日前の 10 月4日にその病棟から退院した A ユニットの女性入居者に対し、抗原検査実施したところ陽性の結果が出ました。退院後より６日まで発熱もなく気になる症状はありませんでした。すぐに居室対応とし、食事で同席であった２名についても同様の居室対応とし、A ユニット内の一斉消毒・換気を行いました。 以後、特変なく経過していましたが、10 月 10 日より A ユニット入居者２名、職員２名、協力ユニットである B ユニット職員１名の陽性を確認。11 日に A ユニット入居者１名の陽性を確認。12 日に B ユニット入居者１名の陽性を確認。13 日に A ユニット入居者１名の陽性を確認。14 日に B ユニット入居者１名、B ユニット職員１名、事務所職員１名の陽性を確認。15 日に B ユニット応援職員（法人内他事業所より応援派遣を受ける）１名陽性を確認。17 日に A ユニット職員１名、B ユニット応援職員１名陽性を確認。18 日に B ユニット職員１名陽性、20 日に B ユニット入居者１名の陽性が判明しました。全てのご家族には、施設で新型コロナウイルス感染症が発生していることを報告、陽性入居者のご家族には、ご本人の経過についてこまめに報告させていただきました。ご家族には励ましや労いの言葉、差し入れを頂戴しました。発生の度に保健所の担当の方とやりとりし、状況を説明、指示をいただき対応しました。収束は入居者・職員の最終陽性者の確認日から 10 日後の健康観察終了日となっており、職員一同収束に向け努めさせていただき、10 月 28 日をもちまして、コロナ陽性初発から 22 日後、収束となりました。
その他の報告事項	・「新型コロナウイルス感染症の予防策及びご家族への対応」
添付資料	有 ・財田の杜　運営推進会議報告資料 ・「財田の杜通信」 ・「新型コロナウイルス感染症発生からの経過、平面図」
会議出席者より 事業所の活動状況の 評価事業所への 要望・助言等	＊ご意見 ●A 氏 　コロナはいまどこでもすごいですよね。施設で発生したことを知り本当に驚きました。コロナの陽性者の症状としてはどのような感じでしたか？ 施設：陽性者の症状は人それぞれで、職員であれば発熱も高熱が出る人とそうではない人、3 日程度で発熱が落ち着いて、のどの強い痛みが

あり食事をとることができない人、強い倦怠感が続く人。入居者様は鼻声・かすれ声・咳・発熱症状がありコロナ治療薬が処方されていたので服用し４日程度で状態が回復傾向となるが、コロナの影響で体力がかなり低下してしまい、肺炎となってしまったり、急に酸素飽和度が低下し緊急搬送された方もいました。また食欲がなかなか回復されず、ＡＤＬ低下となり転倒等につながってしまった方もいました。

●B 氏

菌が目に見えないので本当に恐ろしいです。今後の対策の見直しなど取り組みをされています。発生はしてほしくないですが、万が一、発生してしまった場合に今回のことを活かすことができるよう引き続きご対応お願いします。

●C 氏

入居者様のマイナンバーの申請等についてはどのような感じでしょうか。今後必要な状況に変わってくると思います。申請には本人写真や保険証等が必要となります。写真に関しても基準がありはじかれてしまうこともあります。ご本人の同意は正直難しい方もいらっしゃいますが、ご家族様の同意があれば役場まで来ていただければ、施設職員の代理申請も可能で、対応もさせていただけます。

施設：入居者様のマイナンバーについては契約時にも把握はしていません。ご本人やご家族様からも問い合わせはない状況です。今後、施設で協議し広報誌等でご案内するなどの方法で対応できればと思います。

※その他、特にご意見やご質問などはなかった。

次回の会議は、令和５年１月２６日（木）13：30～の開催予定としている。

以上で、会議を終了する。